

日田商工会議所 キャッシュレス推進委員会 議事録

1. 日 時 令和8年1月15日（木） 11：00～12：00

2. 場 所 日田商工会館 4階 大会議室

3. 出席者

（担当副会頭） 谷口 知幸

（委員長） 宮野 大樹

（副委員長） 東 真吾

（委 員） 梶原 智敏、大塚 智、中山 英明、安田 徳章、中川 和也、平川 好美、小野智宏

（事務局） 樋口 恒成、大石 昭典、春日 国博、西馬 優花、松尾 真理

4. 議事経過

1) 委員長挨拶

・ 宮野委員長より、今後3年間の委員会運営に向けた挨拶があり、委員への協力依頼がなされた。

2) 議題

(1) 副委員長選任について

事務局より規約第4条（役員選任）についての説明がなされた。・ 宮野委員長より東真吾氏（有限会社ファミリーフードサービス）が推薦され、満場一致で副委員長に選任された。

(2) 自己紹介および意見交換

・ 谷口担当副会頭より、「結果を出す委員会」を目指す方針と、自社での完全キャッシュレス化の事例が紹介された。また各委員より自己紹介と共に、主に以下の意見が出された。

① 普及の課題：高齢者や事業者への理解促進、手数料（3%前後）の負担、入金サイクル（資金繰り）の問題等。

② 導入への期待：地域内での経済循環の構築、電子商品券等を活用した新規顧客の獲得。

(3) 事業について

・ 宮野委員長より、3年間の事業計画（1年目：現状把握、2年目：実証、3年目：提言）が説明された。委員会の目標として、「キャッシュレス先進地域」ではなく「市民・事業者・観光客すべてが不便なく使える街づくり」を目指す方針が示された。

(4) 意見交換（主な論点整理）

・ 事業者負担（手数料・入金期間）を軽減する仕組みや、導入メリット（売上データ等）の見える化が必要であるとの意見が出された。地域通貨や電子商品券については、銀行口座等と紐付けて市内循環を促す仕組み作りが重要であるとの認識が共有された。

3) 閉会（まとめ・今後について）

・ 消費者の立場に立って考えることの重要性が確認された。今後は月1回程度の定期開催とし、次回は令和8年2月19日（木）11：00より開催することとした。